4 ビジョン策定委員会の体制・検討経過

25年3月	第1回ビジョン策定委員会	委員会の設置
25年5月	ビジョン策定委員会研修会	テーマ：「地域まちづくり計画（ビジョン）の策定について」
25年6月	ビジョン策定委員会役員会	策定委員会の進め方について協議
25年7月	ビジョン策定委員会	地区の今後について意見交換
25年9月	ビジョン策定委員会役員会	ビジョンの必要性・策定の流れについて協議
25年10月	ビジョン策定委員会役員会	委員会の運営について協議
25年10月	ビジョン策定委員会	委員会に3部会を設置
25年12月	ビジョン策定委員会	部会毎の協議・内容報告
26年1月	ビジョン策定委員会	部会毎の協議・内容報告
26年2月	ビジョン策定委員会役員会	検討の進め方・地域団体へのアンケートについて協議
26年2月	ビジョン策定委員会	会毎の検討・内容報告 地域団体へのアンケートについて協議
26年3月	ビジョン策定委員会	部会毎の検討・内容報告
26年4月	ビジョン策定委員会	部会毎の検討・内容報告
26年5月	ビジョン策定委員会	部会毎の検討・内容報告
26年6月	ビジョン策定委員会	部会毎の検討・内容報告　アンケートについて協議
26年7月	ビジョン策定委員会役員会	アンケートについて協議
26年7月	ビジョン策定委員会	アンケートについて協議
26年8月	役員・部会長会議	アンケートについて協議　アンケートの実施
26年10月	ビジョン策定委員会	アンケート結果の集計
26年11月	ビジョン策定委員会	アンケート結果を反映したビジョン（案）について協議
26年12月	ビジョン策定委員会	アンケート結果を反映した各部会の部会検討会取りまとめ
27年1月	ビジョン策定委員会	ビジョン（案）について協議
27年3月	ビジョン策定	

5 国本地域ビジョン策定実施要領

1　国本地区の将来あるべき姿の実現に向けた取り組みを検討するため、国本地域ビジョン策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

2　委員会は、国本地区づくり振興会が設置し、委員は各種団体から推薦された者、ビジョン策定の準備会であったすてきな国本輝け塾の塾生で参加意向があった者、地区からの公募並びに地区づくり振興会が策定にあたり必要と認めた者（以下「策定委員」という。）で構成する。

3　委員会には委員長、副委員長２人、事務局長を置く。

4　委員長は、地区づくり振興会長を充てる。

5　副委員長、事務局長は委員長が選任し、委員会で承認を得る。

6　委員長は、委員会の全体の運営・総括を行い、副委員長は、委員長の補佐、委員会の進行を行い、事務局長は事務を掌る。

7　会議は、原則として２ケ月に１回程度開催するものとし、委員長と市民センターで調整のうえ、その日程を決める。

8　策定委員は、地域ビジョンの策定に当たり、必要に応じて次の業務を担う。
①　地域の意見等の取りまとめ
②　地域情報の委員会への提供
③　その他目的達成のための必要な事項

9　策定委員は、地域ビジョン策定に当たり、適宜連絡調整を行うとともに情報を共有し、円滑な業務遂行に努める。

10 地域ビジョンの策定業務の進行状況等については、原則として公表するものとする。

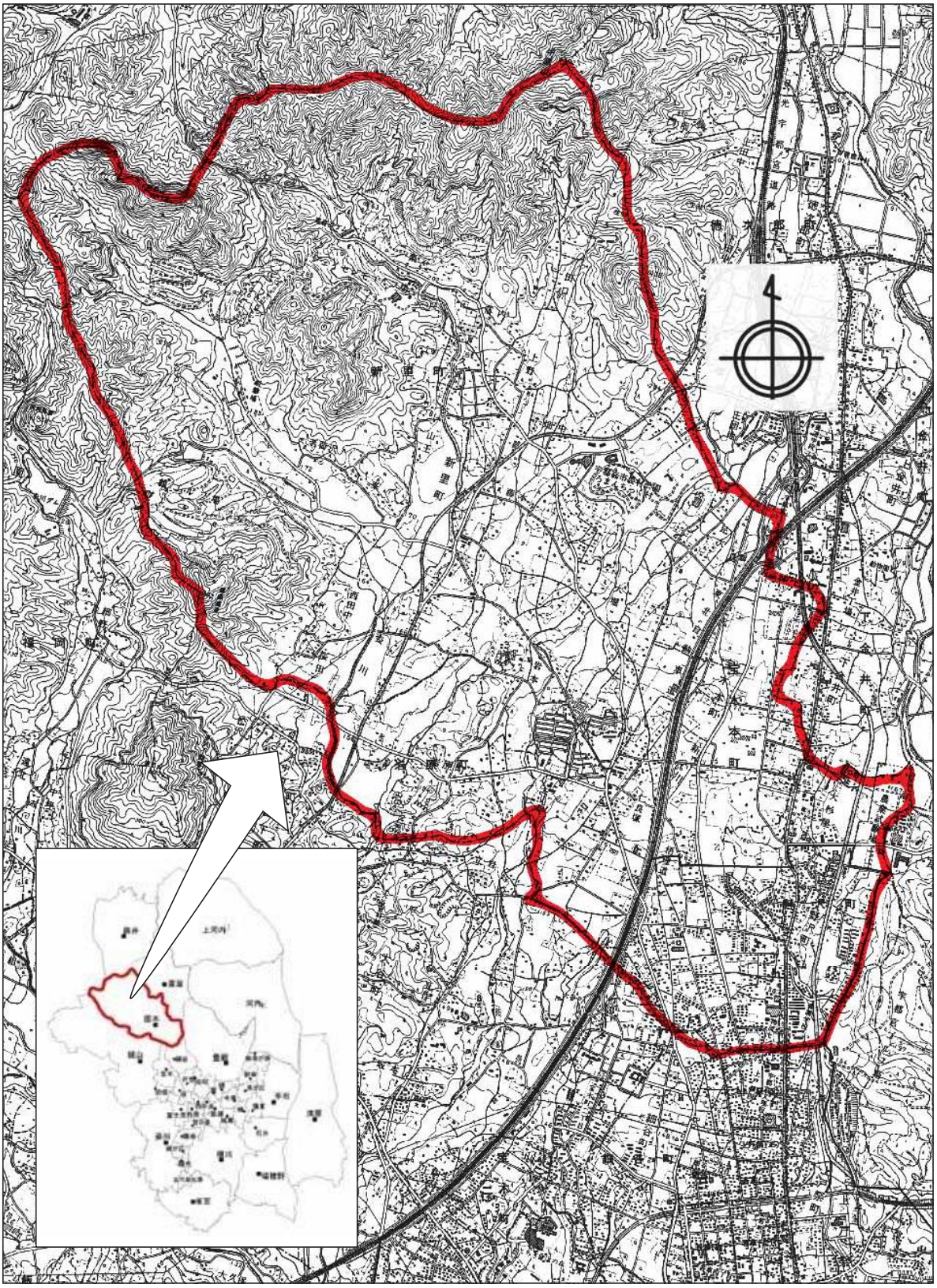
11 その他委員会の運営に関して必要な事項は、委員長と市民センターで協議のうえ、適宜定める。

※　本実施要領は、平成25年２月６日から適用する。

6 国本地域ビジョン策定委員会名簿

役　職	氏　名	活　動　団　体　等
委　員　長	池　田　裕　文	地区づくり振興会
副委員長	高　橋　道　夫	地区づくり振興会
副委員長	半　田　　孝	自治会
事務局長	池　末　宏　行	子ども会育成会連絡協議会
委　　員	矢古宇　芳　一	体育協会
委　　員	松　本　　栄	青少年育成会
委　　員	鷹　觜　澄　子	婦人防火クラブ
委　　員	桂　川　好　剛	消防団国本分団
委　　員	荒　川　孝　志	国本中学校（ＰＴＡ）
委　　員	金　子　武　蔵	晃宝小学校（ＰＴＡ）
委　　員	吉　沢　聖　人	活力あるむらづくり推進会議
委　　員	藤　田　貞　夫	社会福祉協議会
委　　員	渡　邊　忠　雄	健康づくり推進委員会
委　　員	飯　塚　勝　幸	国本中学校（ＰＴＡ）
委　　員	新　谷　　均	自治会
委　　員	平　野　昇　一	自治会
委　　員	清　水　昭　二	広報くにもと編集委員
委　　員	伊　藤　三千代	青少年育成会
委　　員	佐　藤　朋　子	子ども会育成会連絡協議会
健全育成・教育部会委員	大　房　貴　志	国本西小学校ＰＴＡ副会長
健全育成・教育部会委員	内　藤　良　弘	国本中央小学校ＰＴＡ会長
健全育成・教育部会委員	櫻　井　孝　久	晃宝小学校ＰＴＡ会長
健全育成・教育部会委員	鈴　木　昭　江	あおば幼稚園副園長

国 本 地 区



ビジョンの策定そして実現に向かって

国本地区の５年10年先の将来の進むべき方向となる、地域ビジョンの策定に当たりまして、市役所の担当課を始め、各団体、地区の役員、また地区内の皆さんのアンケートなど、各方面からの貴重な意見や、提案、助言等をいただきました。

このような中、策定委員会においても、種々検討を重ね、地域の総意としてビジョンを策定しました。

国本地区は、自然豊かな北西部と市街化の進んでいる中南東部という具合に二極化が顕著となっております。

そのため、生活環境や人口構成にも違いが出ております。

このような状況の中で同じ目標に向かうには、各々の地区に合った手法を用い、地区づくりを行っていく必要があると考えました。

このようなことから、ビジョンにおいては、具体的な個別の計画を揚げることより、大きな目標を見据え、その地区ごとの特色を生かした行動計画を、重要性を勘案し、順次かつ年次ごとに、自分たちができることから始めていく方式としたところです。

今後、地区づくりの事業として、ビジョンの方向性に沿って、計画し実践していく形となります。

実現に向け、地域一丸となって、よりよいそして「これからも住んで、暮らしていきたい国本地区」を目指したいと考えます。

策定にあたり、ご協力いただきました、地域の皆様をはじめ、関係各位に厚く感謝申し上げます。

平成27年３月

国本地域ビジョン策定委員会

国本地区
将来に関するアンケート
調査報告書（概要）

平成26年９月調査

配布数　3,548枚
回収数　2,413枚
回収率　　68.0％
回答数　2,354枚
未回答数　　59枚

国本地域ビジョン策定委員会

はじめに

問１．回答されているあなたの性別は？

1	男　　性	966人	41.9%
2	女　　性	1,337人	58.1%
計		2,303人	100%

※無回答　51人

問２．あなたの年齢は？

1	30歳未満	31人	1.3%
2	30～40歳未満	328人	14.2%
3	40～60歳未満	814人	35.1%
4	60歳以上	1,144人	49.4%
計		2,317人	100%

※無回答　37人

問３．あなたは国本地区にお住まいになって何年になりますか？

1	10年未満	464人	20.1%
2	10～20年未満	377人	16.3%
3	20年以上	1,472人	63.6%
計		2,313人	100%

※無回答　41人

問４．あなたご自身が感じる又は考える国本地区の魅力は何だと思いますか？（複数回答可）

1	自然災害が少ない	1,735人	75.9%
2	市・中心圏に近く、閑静な緑に囲まれた移住空間は、永住に最適	980人	42.9%
3	東北道・日光街道・国道293号が地域内の幹線の役割を担い、利便性が良い	1,079人	47.2%
4	史跡等も多く、国本の歴史をたどることができる	154人	6.7%
5	魅力あふれる景観を有している	151人	6.6%
6	自然に囲まれている	915人	40.0%
7	市全体のリゾート的要素を有し（背景に新里の山々）、ろまんちっく村を拠点とした観光資源などもあり、地区外から来客の拡大も予測され、地域経済の活性化につながるところ	475人	20.8%
8	その他	50人	2.2%
計		5,539人	

回答者数　2,287人　※無回答　67人

問５．現在、地域のどんなことに関心がありますか？（複数回答可）

1	防犯や防災	1,005人	44.6%
2	高齢者の増加	1,060人	47.0%
3	移動交通手段	726人	32.2%
4	空き家の増加	322人	14.3%
5	子どもの教育	420人	18.6%
6	伝統行事や祭りの伝承	229人	10.2%
7	自然環境の保全	508人	22.5%
8	交通安全	547人	24.3%
9	健康	636人	28.2%
10	子育て	279人	12.4%
11	その他	52人	2.3%
計		5,784人	

回答者数　2,253人　※無回答　101人

コミュニティ

問６．あなたとご近所（自治会内外に係わらず）の方とは、どの程度のお付き合いですか？

1	親しい付き合い	415人	18.0%
2	あいさつをしたり、たまに立ち話をする	1,700人	73.7%
3	ほとんど付き合いはない	192人	8.3%
計		2,307人	100%

※無回答　47人

問７．特に災害時など非常時には、地域のつながりが重要となりますが、あなたはご近所とのお付き合いを今後どのようにしていきたいと考えますか？

1	今までどおり親しいお付き合いを続けていきたい	1,173人	50.9%
2	積極的にご近所とのつながりを深めていきたい	615人	26.7%
3	特に考えていない	517人	22.4%
計		2,305人	100%

※無回答　49人

問８．地域のつながりを深めるためには、どのような方法をとったらよいと思いますか？（複数回答可）

1	自治会活動に参加する	723人	32.8%
2	ふだんから近所づきあいを深めておく	1,586人	71.9%
3	地域の行事やイベントに参加し、日ごろから地域とのつながりを深めておく	682人	30.9%
4	その他	60人	2.7%
計		3,051人	

回答者数　2,207人　※無回答　147人

問９．地域では、自治会単位のほか、次のような行事や活動を実施していますが、継続してほしい、見直してほしい、あるいは復活してほしい、新たに開催してほしいなどがありましたら具体的にお書きください。（自由意見）

回答者数　629人　※無回答　1,725人

問10. 地域の活性化には、地域活動の推進や奉仕の精神の育成が必要と考えますが、次のうちあなたが進めたほうが良いと思うのはどれですか？（複数回答可）

1	国本リーダースクラブ（ＫＬＣ）の活動支援	477人	26.4%
2	次代を担う青少年の集う交流会の実施	767人	42.4%
3	地域の連帯意識や相互扶助を小集団活動（近所付き合い単位）で拡充	561人	31.0%
4	地区内の一斉清掃や自然環境維持のための美化やクリーン運動の積極的な展開と参加	715人	39.5%
5	自発的なボランティア活動の推奨、自立した組織員の養成（消防団への参加など）	271人	15.0%
6	その他、あなたが実施したほうが良いと思うものがありましたら具体的に記入ください	58人	3.2%
計		2,849人	

回答者数　1,808人　※無回答　546人

問11. 連帯意識の高い地域づくりのため、次のうちあなたが進めたほうが良いと思うのはどれですか？（複数回答可）

1	「住みたい、住み続けたいまち国本」の実現・魅力発信のため地域広報の充実	608人	32.2%
2	災害時における自治会の役割についての周知活動	851人	45.1%
3	横のつながりを大切に思える地域活動（地域による高齢者外出支援など）	656人	34.7%
4	ジャパンカップサイクルロードレースなど、既存イベントを利用した地域のＰＲなどの実施	237人	12.5%
5	ろまんちっく村など既存施設との連携による観光客の取り込み活動	414人	21.9%
6	地区づくり振興会など、団体の活動情報の発信	166人	8.8%
7	地域コミュニティ事業「ふれあいウォーク」など、既存事業への参加促進	199人	10.5%
8	地域内における地産地消を推進するため「軽トラ市」等の実施	350人	18.5%
9	新しい事業として地区をあげての「大きな祭り」の実施	268人	14.2%
10	その他、あなたが実施したほうが良いと思うものがありましたら具体的に記入ください	54人	2.9%
計		3,803人	

回答者数　1,889人　※無回答　465人

問12. 自治会活動を更に魅力あるものにし、自治会加入の促進を図るには、どのような方法をとったらよいと思いますか？（複数回答可）

1	会員がもっと自治会に親近感が持てるようにする	971人	55.0%
2	自治会内の交流・親睦の機会を増やす	562人	31.9%
3	なるべく多くの人が役員を経験して、自治会活動に関心を持つようにする	340人	19.3%
4	必要に応じて他の団体と連携して、自治会として高齢化対策に取り組む	467人	26.5%
5	その他、魅力ある自治会にするための方策について、ご意見を記入ください	87人	4.9%
計		2,427人	

回答者数　1,764人　※無回答　590人

自然環境・生活環境

問13. 地域にある河川や林など豊かな自然を保全し又活用した、憩いの場や景観づくりが必要と考えますが、次のうちあなたが実施したほうが良いと思うのはどれですか？（複数回答可）

1	地区の多くの湖沼（栗谷沢ダム、茗荷沢ダム、西弁天沼、東弁天沼等）の保全活動	681人	34.9%
2	地域に生息する貴重な生き物の保全活動	445人	22.8%
3	平地林、里山の保全活動	460人	23.6%
4	生き物の生活の基本となる河川（姿川、鎧川、豆田川、新川、釜川、東釜川など）の環境保全と景観整備の取組	742人	38.0%
5	ほたるの舞う里づくりの活動推進	700人	35.9%
6	静桜などを活用した「地域景観づくり」の推進	324人	16.6%
7	不法投棄対策等を含めた住民参加の清掃活動の取組み推進	459人	23.5%
8	空き家、空き地、遊休地などの適正管理の推進	623人	31.9%
9	「水辺が愉快だ宇都宮」とするため、源流や西弁天沼、竹林など地域資源を活かし、太鼓橋を作り、茶屋や直売所などを含めた、「源流公園」の整備	447人	22.9%
10	その他、あなたが実施したほうが良いと思うものがありましたら具体的に記入ください	73人	3.7%
計		4,954人	

回答者数　1,951人　※無回答　403人

健康・福祉

問14. 誰もが健康で快適に安心して暮らしていくために、その仕組みづくりが必要と考えますが、次のうちあなたが進めたほうが良いと思うのはどれですか？（複数回答可）

1	地域として、生活（交通）弱者を支援していく仕組みの構築	905人	43.8%
2	地域内交通など、生活に密着した移動方法などの構築	683人	33.1%
3	誰もが快適に暮らしていける生活環境づくり	1,095人	53.0%
4	福祉に対する地域住民の理解を深めるサロン事業（身近な場所で集い、会話や相談ができる）の展開	454人	22.0%
5	福祉のバリアフリー化に向けた取組みの実施	306人	14.8%
6	老老介護の支援・長寿会の地域的な拡充促進	540人	26.2%
7	生活習慣病予防対策の推進（運動・食生活の改善）	345人	16.7%
8	地域ぐるみで、「みんなで歩こう」運動など生活習慣病の予防対策や健康づくり事業の推進	324人	15.7%
9	その他、あなたが実施したほうが良いと思うものがありましたら、具体的に記入ください	45人	2.2%
計		4,697人	

回答者数　2,065人　※無回答　289人

安心・安全

問15. 安心安全な地域とするためには、交通環境の整備が必要と考えますが、次のうちあなたが実施したほうが良いと思うのはどれですか？（複数回答可）

1	地域内交通の利用促進を図る	205人	9.8%
2	自転車が安全に利用できる対策の推進（特に通学路）	1,238人	59.1%
3	交通事故の無い道路建設の推進や啓蒙	793人	37.9%
4	交通環境のバリアフリー化の推進	346人	16.5%
5	事故多発などに対応するため、危険箇所のリストアップ	745人	35.6%
6	住宅地内における車輌のスピードダウンのための安全対策の実施	858人	41.0%
7	その他、あなたが実施したほうが良いと思うものがありましたら、具体的に記入ください	155人	7.4%
計		4,340人	

回答者数　2,094人　※無回答　260人

問16. 安全で安心して暮らすために、防犯についての意識高揚や体制づくりが必要と考えますが、次のうちあなたが進めたほうが良いと思うのはどれですか？（複数回答可）

1	地域内で居住する人々が互いに日常の交流と見守りができていること	1,279人	62.0%
2	安全情報の一元化と発信ができていること	453人	22.0%
3	地域内の総力を挙げた防犯活動の推進	637人	30.9%
4	誰でも情報を取得・共有できる仕組みの整備	604人	29.3%
5	コンビニ・会社等に「かけこみ110番」の増設	764人	37.0%
6	その他、あなたが実施したほうが良いと思うものがありましたら具体的に記入ください	90人	4.4%
計		3,827人	

回答者数　2,063人　※無回答　291人

問17. 安全で安心して暮らすために、地域全体に災害に対しての備えや防災意識の向上等が必要と考えますが、次のうちあなたが進めたほうが良いと思うのはどれですか？（複数回答可）

1	防災マニュアルの作成や自治会単位で「防災訓練」の実施	740人	36.0%
2	家庭内や個人での最小限の備蓄などの促進	1,187人	57.7%
3	災害時要援護活動の推進	715人	34.7%
4	防災に係る情報の発信促進	966人	46.9%
5	その他、あなたが実施したほうが良いと思うものがありましたら具体的に記入ください	61人	3.0%
計		3,669人	

回答者数　2,058人　※無回答　296人

健全育成・教育

問18. 地域に根ざした特色ある教育・文化の創造が、充実した青少年育成と教育に必要と考えますが、次のうちあなたが進めたほうが良いと思うのはどれですか？（複数回答可）

1	子どもたちの交流事業の促進	799人	41.7%
2	地域行事への参加促進による文化の継承など、地域教育の実施	626人	32.6%
3	少子化による学校の存続問題への対策	491人	25.6%
4	小中学生のスポーツ力向上のため、地域指導員の充実などの支援	469人	24.5%
5	地域の食文化の継承	309人	16.1%
6	地域体験活動推進・奉仕の精神の育成対策など、高齢者へのボランティア活動実施	659人	34.4%
7	社会学習の機会の提供	497人	25.9%
8	学校への出前講座等による伝承の実施	287人	15.0%
9	その他、あなたが実施したほうが良いと思うものがありましたら具体的に記入ください	48人	2.5%
計		4,185人	

回答者数　1,918人　※無回答　436人

問19. 誰もが生きがいをもって暮らせる地域にするために、次のうちあなたが進めたほうが良いと思うのはどれですか？　（複数回答可）

1	自然や文化財を見聞・体験するため、サイクリングやウォーキングの環境整備	948人	47.9%
2	地域内行事の見直し	607人	30.6%
3	新たな地域資源の設定と活用	257人	13.0%
4	地域内の歴史、文化（桜田のお囃子、宗円獅子舞、静桜など）の発掘と継承活動	564人	28.5%
5	たこ揚げ、門松づくり、七夕等地域文化の保存・伝承の実施	371人	18.7%
6	盆踊りやどんど焼きなど地域行事の復活支援	729人	36.8%
7	高齢者の経験や知恵を後世に活かす「生きがい事業」の実施	494人	24.9%
8	その他、あなたが実施したほうが良いと思うものがありましたら具体的に記入ください	27人	1.4%
計		3,997人	

回答者数　1,981人　※無回答　373人

その他

問20. ５年後、10年後の国本地区を「住んで・暮らして」いきたい地区にするために、どんなことが必要だと思いますか？（自由意見）

回答者数　586人　※無回答　1,768人



昭和50年代の国本地区



宝木用水

国本地区地域ビジョン

発行年月　平成27年3月
発　行　者　国本地区づくり振興会
（国本地区地域ビジョン策定委員会）
事務局：国本地区市民センター内
☎ 028－665－2942
印　刷　所　株式会社　井上総合印刷